



札幌市立中央幼稚園

研究だより No.2

<今年度の研究の重点>

『遊びや生活を通じた学びや、

一人一人の幼児の育ちを家庭と一緒に考えていくために』



中央幼稚園では、子どもたちの園での遊びの様子から、
「子どものいいね！」（幼児の内面の育ち）や、**「大人のいいね！」**（育ちにつながった援助や環境の構成）について職員で話し合い保育の質の向上を目指しています。

1学期は、<自立心>をテーマに、各学年の**栽培物等への関わり**から「いいね！」を見付けました。ご家庭での関わりご参考にしてみてください。

3歳「じょうろで水やりが楽しい！」

4歳「“みんなの”じゃなくて、“自分の”大根が育てたい！」

5歳「とにかく 植えてみよう！」



子どものいいね！

- “水やり”というよりは、じょうろで水を撒くことが楽しい！ 楽しい気持ちを、「水やりをしたい！」と先生に伝えたり、夢中になって水を撒いたりする姿がいいね！



- “自分の大根”に毎日水やりをする子どもたち。「自分でお世話をしないと！」と必要感をもって水やりをしている姿がいいね！
- うっかり水やりを忘れて、水やりをしすぎたりして枯らしてしまうこともあったけど、「植え直そう」「もっと水をあげないと」と失敗から次の行動を自分なりに考えている姿がいいね！



- いちごやトマト、ぶどうなど、身近にある“種”を見付けては、植木鉢に植えている年長児。
「この種は、芽が出るかな？」と好奇心をもち考えたり、育てたいと思った種を自分で用意しようとする姿がいいね！
- 芽が出るかどうか分からないけど、ドキドキワクワク、期待感を持って水やりをする姿がいいね！



大人のいいね！

- “やってみたい”という気持ちを引き出す援助がいいね！
※栽培物は子どもたちの目に入りやすい所に置く
※いつでもできるよう、じょうろをたくさん用意
※いつも同じタイミングでの誘い掛け



- 「自分でやろう」と思えるような環境がいいね！
※一人一つの大根
※名前を付けて自分の大根が分かるように→自分の大根と友達の大根を比べることで、発見や意欲につながる

- 「うまくいくように」と最初から教え込まない。失敗しても大丈夫！「じゃあ、どうしようか」と子どもと一緒に考える姿勢がいいね！



- 子どもが「やってみたい」と思ったことをうまくいかないかもしれないけど、「まずはやってみよう！」と働きかける援助がいいね！
※白ごまなど、芽が出ないと分かっている物でも子どもの好奇心を大切に、「やってみる」経験を実現

- 「自分で用意してやってみよう」と思える援助がいいね！
※ “種”という身近にあって手軽に用意できる素材





幼児期における自立心とは？～こんな姿が育ってほしい！～

身近な環境に主体的に関わり様々な活動を楽しむ中で、しなければならないことを自覚し、自分の力で行うために考えたり、工夫したりしながら、諦めずにやり遂げることで達成感を味わい、自信をもって行動するようになる



水やりが楽しい！
興味・関心



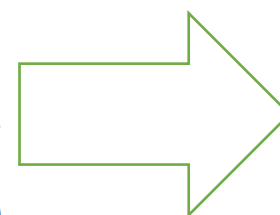
自分の大根に水をあげないと！
必要感



芽が出てきた！次はこれを植えてみよう！
達成感・満足感

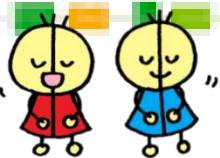


この種は芽が出るかな？植えてみよう！
好奇心



幼児期に育まれた自立心は、 小学校生活でのこんな姿につながります！

- ※自分でできることは自分でしようと積極的に取り組む姿
- ※生活や学習での課題を自分のこととして受け止めて意欲的に取り組む姿
- ※自分なりに考えて意見を言ったり、分からないことや難しいことは、教師や友達に聞きながら粘り強く取り組んだりする姿



ご協力のお願い

1学期は、個人懇談や保護者アンケートのご協力をありがとうございました。その中で、「お子さんが自分ですべきことを自分で行おうとしない」「他のことに気を取られて進まない」「園ではやるのに、家庭では甘えてしようとしらない」などの悩みを抱えている保護者の方も多数いらっしゃいました。

子どもの自立心を育むためには、裏面にある「大人のいいね！」に記載されたような関わりが大切だと園では考えたのですが、ご家庭ではどのような工夫をされていますか？

研究だよりを読んだ感想やご意見、家庭での工夫など何でもよいです。右の用紙に記入して頂き、玄関ポストに投函していただけますと幸いです。今後の参考にさせていただきますと思います。

ご協力よろしくお願い致します。